

# 交換派遣留学(チャレンジ枠)募集要項

## せいぎ 静宜大学 特別留学プログラム



2025年9月 募集

対象：2026年度春学期出発



**出願期間：2025年8月25日(月) 10:00～8月28日(木) 23:59**

### 交換派遣留学における留意事項

- 本プログラムの実施については、諸事情（治安情勢を含む）により募集内容（出願要件、出発時期）の変更や中止、学内選考後の派遣内容の変更や派遣の中止を行うことがある。
- 協定大学による募集要件は、予告なく変更される場合がある。また、協定大学の留学生受入体制等の事情により募集が停止される場合がある。

【問い合わせ先】 国際部 交換派遣留学担当（月～金 9:00-17:00）

TEL: 06-6368-1174 / メールアドレス: ku-studyabroad@ml.kandai.jp

## 内容

1. 静宜大学について .....	1
2. 静宜大学特別留学プログラム（チャレンジ枠）とは.....	2
3. 出願要件・資格 .....	3
4. 出願準備 .....	4
5. 教学上の措置 .....	5
6. 情報収集 .....	6
7. 出願手順 .....	7
8. 学内選考・選考結果通知.....	8
9. 派遣決定から出発までの流れ .....	9
10.安全対策方針 .....	9
11.留学経費.....	10
12.海外旅行包括保険および危機管理サポートへの加入について .....	10
13.留学準備について.....	11
[参考資料] 誓約書サンプル .....	12

## 1. 静宜大学について

---

概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・台湾 台中市に位置</li><li>・1921年に創立され、1993年現在の名称である「静宜（せいぎ）大学」となる。</li><li>・外国語・外国文学部、人文社会科学部、理学部、経営学部、コンピュータ・情報学部の5つの学部からなる総合大学。</li><li>・学生数約13,000名、うち約1,000名が留学生。</li></ul>
特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>・関西大学でも毎年、静宜大学から交換派遣留学生を受け入れている。</li><li>・バディプログラムがあり、現地学生が留学生をサポートしてくれる。</li><li>・中国語他、英語・日本語でも開講科目がある。</li><li>・1学期間の寮費が約NTD12,000～16,000（日本円で約53,000～72,000円）と格安！</li></ul>
静宜大学 ホームページ	<a href="https://enpu.pu.edu.tw/">https://enpu.pu.edu.tw/</a>

## 2. 静宜大学特別留学プログラム（チャレンジ枠）とは

制度	<p>交換派遣留学の協定大学である台湾の静宜大学へ1学期間の留学。</p> <p>交換派遣留学の一般枠の出願要件とは異なる基準により、協定大学での学習の機会を得ることを目的とする。</p>
特徴	<p>語学(中国語)を学びながら中国語、日本語、英語による専門科目を履修。 語学レベルに関係なく出願できる。</p>
留学期間	<p>春学期：2月～6月 秋学期：9月～1月 ※正式な留学開始日・修了日については静宜大学への派遣確定後に決定する。</p>
募集定員	各学期 10 名
選考方法	<p>所定の出願書類を国際部に提出後、面接選考試験を実施。 (交換派遣留学 一般枠の選考面接と同日に実施。)</p>
授業内容	<p>語学と専門科目の両方の授業を履修。</p> <p>&lt;例&gt;</p> <p>①語学 「中国語」(1コマ×週5日) または (2コマ×週5日)</p> <p>②専門科目 中国語・英語・日本語で開講されている専門科目(各科目1コマ×週1日)を履修。 開講科目例…「台日比較教育」「日中翻譯理論」「國際財務管理」 「台灣歴史和文化」「語音及音韻學」「中級英会話」など</p> <p>履修上限：23単位 ※上限23単位以上の科目を履修する場合は有料。</p>
滞在場所	<p>静宜大学が指定する学生寮</p> <p>&lt;例&gt;</p> <p>男子寮：3人部屋 女子寮：3人～4人部屋 寮費…1学期あたり約NTD12,000～16,000</p>

### 3. 出願要件・資格

※次の全ての条件を満たしていること

対象者	学部生/大学院生
資格	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 留学する時点で本学に1学期以上在学していること（大学院で留学する場合は、大学院進学後に出願すること。ただし、大学院への内部進学が決定した者については、進学前の出願を認める）。</li> <li>2. 留学期間中に在学していること（留学期間中、休学はできない）。</li> <li>3. 各キャンパスで4月に実施する健康診断を受診していること（未受診の場合は大学指定医療機関（有料）で受診していること）。</li> <li>4. 所定の単位を取得していること。</li> <li>5. 誓約書記載事項を遵守することができること。</li> <li>6. 出願までに、卒業または修了までの単位修得計画等について、所属学部・研究科の教務事務担当者に事前に相談していること（<b>事前相談必須</b>）。</li> <li>7. 大学院生の場合、指導教員からの留学許可を得ていること。</li> <li>8. 指定した日時に面接を受けられること。</li> <li>9. 留学開始前の前学期に、原則として留学準備「13. 留学準備について」で示すものに参加の上、課題等に取り組むこと。</li> </ol>
語学要件	なし
GPA要件	なし
単位に関する要件	<p>所定の単位を取得していること。</p> <p>【学部生の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1年次生および今年度編・転入学した学生は、今年度30単位以上を修得する見込み（履修登録している）であること。※学内選考に合格した場合も、1年次終了時に30単位を満たさなければ、協定大学への推薦を取り消し、派遣しない。</li> <li>・ 2年次生は、1年次終了時に30単位を修得していること。</li> <li>・ 3年次生は、2年次終了時に60単位を修得していること。</li> <li>・ 4年次生は、3年次終了時に90単位を修得していること。</li> </ul> <p>※ただし、カリキュラムの都合等本人の責によらない特別な事情がある場合はこの限りではない。</p> <p>【大学院生の場合】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 博士課程前期課程の場合、総合情報学研究科及び理工学研究科の大学院生は10単位以上、それ以外の研究科の大学院生は8単位以上修得していること。ただし、博士課程後期課程及び専門職学位課程の場合はこの限りではない。</li> <li>・ 1年次生については、今年度上記の通り単位を修得する見込み（履修登録済み）のこと。</li> </ul>

## 4. 出願準備

【学部生・大学院生 共通】

<p>教務事務担当者 への相談 <b>(事前相談必須)</b></p>	<p>交換派遣留学をするにあたり、<u>留学出願前に自身の卒業までの科目の履修・単位修得の見通し</u>について相談したうえで出願することが留学出願要件（必須）となっています。</p> <p>例えば、学部3，4年次に留学する場合、卒業するために必須要件である専門演習等（いわゆるゼミ）の履修と重なる場合には、単位が修得できず在学4年間での卒業ができない場合があります。そのほか、留学先での認定単位数の見通し*、資格取得に関する科目の履修の時期なども学部により異なります。また、留学時期（春学期または秋学期）や卒業時期をいつにするのかによっても科目の履修・単位修得計画が変わります。交換派遣留学に際し、卒業までの科目の履修をどのように計画して単位を修得していくのか十分に把握できていない場合、想定している卒業時期に卒業できないといった事態に陥るケースもありえますので、そのようなことのないよう教務事務担当者に留学出願前に履修相談を行い、自己の責任のもと十分に理解したうえで留学準備を進めてください。</p> <p>*ただし、留学先の認定単位数の確定は帰国後となります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【履修・単位修得計画の主な確認事項（例）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ゼミの履修時期・修得の見通し（特に学部3，4年次の場合。学部により異なります。）</li> <li>◎留学先の単位認定数の見通し（どの科目群で何単位程度の認定が見込まれるか。）</li> <li>◎教職課程、その他の資格に関する科目の履修時期・修得の見通し</li> <li>◎卒業までの単位修得計画の見通し（学部生の場合、在学4年間での卒業を予定するか否か。卒業に必要な在学学期数を満たすか。）など</li> </ul> </div> <p>※教務事務担当者へ相談に行く際は、このページを持参し相談することをおすすめします。</p>
<p>国際部への 事前留学相談</p>	<p>留学について国際部交換派遣留学担当者に事前に相談する。</p> <p>大学院生は出願する大学での研究分野の適応性を確認し、研究計画書を作成の上、国際部に事前に相談すること。</p> <p>月曜日～金曜日9:00～17:00 国際部での留学相談予約 <a href="https://calendly.com/ku-studyabroad">https://calendly.com/ku-studyabroad</a></p> <div style="text-align: right;">  </div>
<p>ライティングラボでの 文章作成相談</p>	<p>出願に必要な「志望動機書」作成にあたり、適宜ライティングラボで個別相談を受けることを強く推奨する。ライティングチューターからアドバイスを受け（1回40分）、留学への思い・計画を読み手にとってわかりやすく説得力のある文章を作成すること。「志望動機書」のドラフトを作成した上で、相談に行くことが望ましい。</p> <p>※ライティングラボは文字添削ではなく、文書の構成のアドバイスを行うラボ。</p> <p>【ライティングラボ開室日・時間】 開室機関については、ライティングラボホームページにて最新の情報を確認してください。 授業期間中の月曜日～金曜日11:30～17:00</p> <p>ライティングラボでの文章作成相談予約 <a href="https://tecfolio.kansai-u.ac.jp/kwl/">https://tecfolio.kansai-u.ac.jp/kwl/</a></p> <div style="text-align: right;">  </div>

出願書類の準備	<p>出願期間までに 関大LMS コースにアクセスし、提出必要書類を確認・ダウンロード・記入して提出準備を進めておくこと。</p> <p>大学院生については、本学での指導教員による留学許可を得て、「研究計画書」に確認印を得ること。</p> <p>(※事前に各教務事務担当者に確認すること)</p> <p>コース名：交換派遣留学(2025年9月募集) 年度/学期：2025年/通年</p> <p><a href="https://kulms.tl.kansai-u.ac.jp/webclass/login.php?group_id=ab7eb3fe5d893349879cbca68789cd1a">https://kulms.tl.kansai-u.ac.jp/webclass/login.php?group_id=ab7eb3fe5d893349879cbca68789cd1a</a></p>	 <p>2025年9月募集</p>
---------	--	--

## 5. 教学上の措置

教学上の措置	単位認定	留学先大学で修得した単位は、学部生は60単位、大学院生は10単位を上限として所属学部・研究科の審査を経て、単位認定が可能である。
	修業年限への算入	留学期間の1学期間は、本学の在学年数に算入される (ただし、他の中長期プログラム経験者は必ず事前に教務事務担当者に確認すること)。

### 教務事務担当オフィス

キャンパス	教務事務担当オフィス
千里山キャンパス	教務センター
高槻キャンパス	総合情報学部オフィス
高槻ミューズキャンパス	ミューズオフィス
堺キャンパス	堺キャンパス事務室
吹田みらいキャンパス	吹田みらいキャンパス事務室

## 6. 情報収集

<p>海外協定大学 Factsheet</p>	<p>Factsheet とは各協定大学が大学の基本情報をまとめた資料です。</p> <p>関大 LMS コース名：海外協定大学 factsheet 年度/学期：通年</p> <p><a href="https://kulms.tl.kansai-u.ac.jp/webclass/login.php?group_id=4413116adb69e9dbb7d83b02bb1a4b2a">https://kulms.tl.kansai-u.ac.jp/webclass/login.php?group_id=4413116adb69e9dbb7d83b02bb1a4b2a</a></p> 
<p>学習状況報告書</p>	<p>2021年春学期以降に交換派遣留学をした学生のレポートです。履修した授業の学習報告書、生活状況のアンケートが閲覧できます。</p> <p>関大LMS コース名：【交換派遣留学・静宜大学プログラム】帰国生留学レポート 年度/学期：通年</p> <p><a href="https://kulms.tl.kansai-u.ac.jp/webclass/login.php?group_id=6504fd5c0ec7eefed0c5edfdb2c9f414">https://kulms.tl.kansai-u.ac.jp/webclass/login.php?group_id=6504fd5c0ec7eefed0c5edfdb2c9f414</a></p> 
<p>交換派遣留学 経験者ブログ</p>	<p>これまでに交換派遣留学をした学生が経験した様々な出来事を綴ったブログです。</p> <p>note #関大交換派遣留学 <a href="https://x.gd/Pz9NV">https://x.gd/Pz9NV</a></p> <p>◎留学ブログ What's your story?</p> <p>「留学してわかった「現地でしか得られない」こと」 <a href="https://note.com/whatsyourstoryku/n/na153de9ff952">https://note.com/whatsyourstoryku/n/na153de9ff952</a></p> <p>「“日本人、21歳、ろくに中国語も話せない私”のコロナ禍奇跡の台湾留学体験記」 <a href="https://note.com/whatsyourstoryku/n/n4eea2b2ab77c">https://note.com/whatsyourstoryku/n/n4eea2b2ab77c</a></p> <p>◎交換派遣留学Vlog</p> <p>「台湾・静宜大学での1日   My studyabroad life in Taiwan」 <a href="https://www.youtube.com/watch?v=pmmZcTxfUB4">https://www.youtube.com/watch?v=pmmZcTxfUB4</a></p>    

## 7. 出願手順

下記の出願期間内に 1～3 を完了させること（一般枠・チャレンジ枠の併願出願は不可）。

**出願期間：2025 年 8 月 25 日 (月) 10:00 ～ 8 月 28 日 (木) 23:59**

出願期間までに 関大 LMS コースにアクセスし、提出必要書類を確認・ダウンロード・記入して提出準備を進めておくこと。

**コース名：交換派遣留学(2025 年 9 月募集)**

**年度/学期：2025 年/通年**

[https://kulms.tl.kansai-](https://kulms.tl.kansai-u.ac.jp/webclass/login.php?group_id=ab7eb3fe5d893349879cbca68789cd1a)

[u.ac.jp/webclass/login.php?group\\_id=ab7eb3fe5d893349879cbca68789cd1a](https://kulms.tl.kansai-u.ac.jp/webclass/login.php?group_id=ab7eb3fe5d893349879cbca68789cd1a)



提出 チェック		入手方法	提出方法
<input type="checkbox"/>	①申請アンケート	リンクよりインフォメーションシステムへ遷移 → インフォメーションシステム → 申請アンケート  『2026年度春学期出発交換派遣留学 (2025 年 9 月募集)申請フォーム』	申請アンケートに回答 ・ 連絡先メールアドレス、携帯番号 ・ <u>履修、ゼミ、単位等について相談し、自己責任のもと十分に理解したことの確認。(相談していない場合、出願受付不可)</u> ・ 留学先で配慮が必要な既往症・現在療養中の疾患の有無 ・ 語学スコア (TOEFL®, IELTS™、その他語学資格試験等)、取得日 ・ 卒業・修了までの在籍予定年数 等
<input type="checkbox"/>	②志望動機書 or 研究計画書  ※ (学部生/大学院生) × (一般枠/チャレンジ枠) でフォーマットが異なりますので注意してください。	関大 LMS よりダウンロード → 出願書類(ダウンロード) → 該当するものをダウンロード  ②【学部生・チャレンジ枠】志望動機書 ②【大学院生・一般枠/チャレンジ枠】研究計画書 ※指導教員の確認印 (留学許可) が必要。	関大 LMS へアップロード → 出願書類提出 (記入済書類データをアップロード) → 『② 志望動機書/研究計画書』へアップロード  海外大学で専門分野を学ぶという交換派遣留学の趣旨を理解した上、単なる語学習得・国際交流・海外生活体験にとどまらない動機・目標を記述すること。
<input type="checkbox"/>	⑤誓約書	関大 LMS よりダウンロード → 出願書類(ダウンロード) → ⑤ 誓約書 をダウンロード	関大 LMS へアップロード → 出願書類提出 (記入済書類データをアップロード) → 『⑤誓約書』へアップロード 保証人の方と内容を確認の上、各署名欄に署名すること。

## 提出時の留意事項

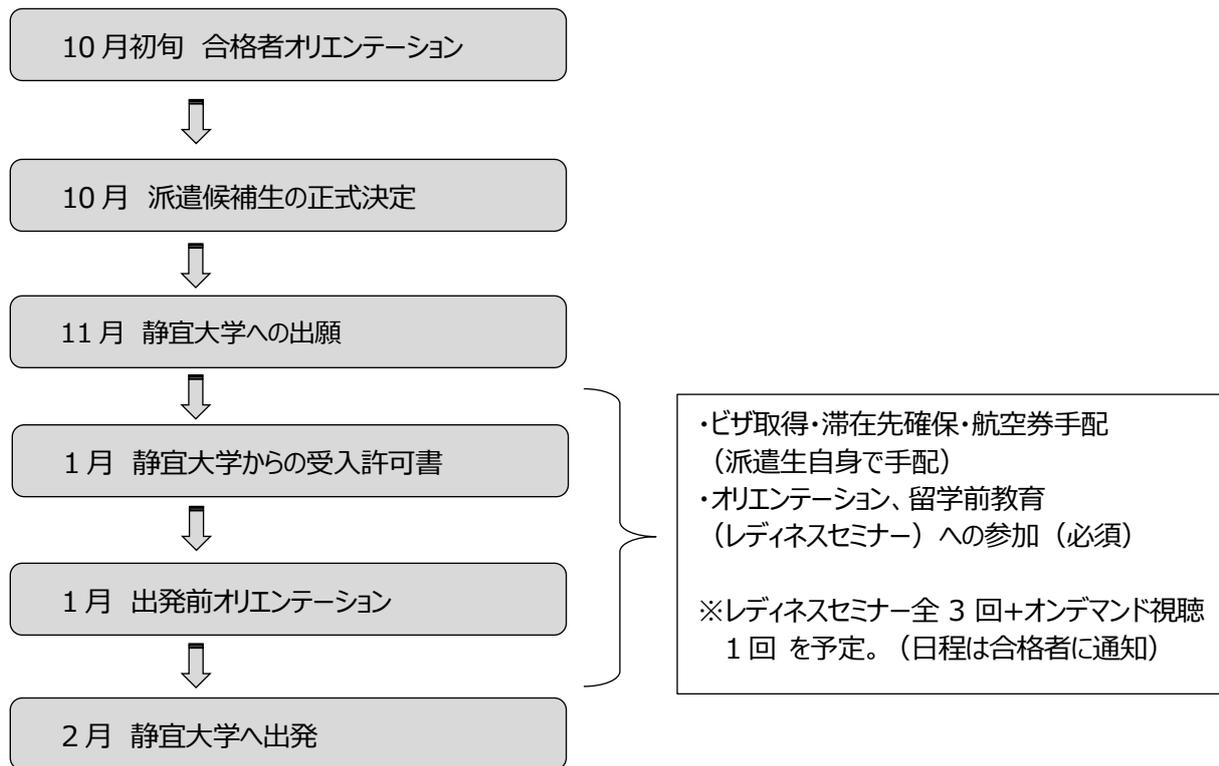
出願書類	提出形式	提出時の留意事項
申請アンケート	URLに回答	●入力ミスはないか
志望動機書 or 研究計画書	Microsoft Word	●誤字脱字、不適切な部分で改行等はないか ●指定された文字数には達しているか ●フォントや文字サイズは統一されているか
誓約書	PDF または JPEG 等画像データ	●ページ全体が鮮明に読めるか ●画像ファイル形式は適切か ●提出は3枚すべてか ●署名は直筆（学生本人、保証人ともに）で記入しているか

※詳細は関大 LMS コース内に『出願書類チェックリスト』にて確認のこと。

## 8. 学内選考・選考結果通知

日程	<b>2025年9月10日（水）、11日（木）、12日（金）のいずれか（予定）</b>
時間	出願者に対して個人伝言により後日連絡 ※面接日時の希望は一切応じられません。
場所	Zoomによるオンライン面接
内容	一人あたり15分程度の面接 ※筆記試験は実施しません。
結果通知	9月下旬頃、個人伝言で通知 ※合否に係る問い合わせには一切応じられません。

## 9. 派遣決定から出発までの流れ



## 10. 安全対策方針

関西大学は、本学の留学プログラムを通じて留学する学生の安全対策として、外務省海外安全ホームページにて発表される「危険情報」の4つのカテゴリーに基づき対策を講じる。(誓約書サンプルに記載の「安全対策方針」を参照)

本プログラムの実施については、諸事情(治安情勢を含む)により募集内容(出願要件、派遣者数等)の変更や中止、学内選考後の派遣内容の変更や派遣の中止を行うことがある。

参考：外務省「海外安全情報」・「感染症危険情報」の目安と関西大学の基本方針

<https://www.kansai-u.ac.jp/Kokusai/globalnavi/crisismanage/>

## 11. 留学経費

学費	<ul style="list-style-type: none"><li>・留学先大学における授業料は、本学に納入した学費をもって充当する。</li><li>・定められた期日までに学費等の納入がなかった場合は、本学規程に基づき、交換派遣留学生としての資格を取り消す。</li></ul>
渡航費・滞在費・生活費・保険料等	<ul style="list-style-type: none"><li>・本人負担とする。</li><li>・留学先大学により、各種登録手数料・施設利用料等の諸費が必要となる場合がある。</li></ul>

## 12. 海外旅行包括保険および危機管理サポートへの加入について

国際部が所管する留学プログラムで留学する学生は、出発から帰国までの本学指定の海外旅行包括保険（以下、「本保険」という）および危機管理サポート（関大 TRS）への加入を義務付けている。本保険は、包括契約による割引が適用され、大幅な費用負担の軽減も図られている。なお、本保険に加入した場合であっても、留学先大学から現地の健康保険や医療保険への加入を求められる場合もある。事案によっては補償に制限がある場合もあり、その場合高額な負担を強いられることになるので、双方の保険に加入すること。

海外旅行包括保険取扱会社	ジェイアイ傷害火災保険株式会社
危機管理サービス取扱会社	株式会社JTB
料金目安	6か月：海外旅行包括保険料 60,000円 + 関大TRS:10,500円 12か月：海外旅行包括保険料 125,000円 + 関大TRS:19,500円 ※本保険の保険料は、前年の事故損害件数や補償額により変動する。

上記に加えて、関西大学では日本アイラック安心サポートデスクの「緊急時安否確認システム（プロ・ファインダー）」に加入し、有事の際の安否確認など危機対応を行う。システムに関する費用については、大学負担であるため、留学生個人による支払いは不要。

## 13. 留学準備について

---

現地で専門科目を履修するにあたり、合格後も引き続き語学力の向上に努める必要がある。特に、生活言語と履修言語が異なる場合は、どちらの言語についても準備が必要となる。

よって留学開始の前学期には、留学準備として以下のことに取り組むこと。

- 全ての事前オリエンテーション・セミナーへ出席（授業との重複を除く）すること。
- 全ての提出物等を定められた期日までに提出（処理）すること。
- 自身で立てた学習計画に沿ったグローバル・フロンティア科目（英語で開講される科目）を履修すること。

※グローバル・フロンティア科目について

関西大学シラバスシステム：「インターファカルティ科目」から検索

<https://syllabus3.jm.kansai-u.ac.jp/syllabus/search/kamoku/KamokuSearchTop.html>



- Mi-Room のセッションに参加し、外国語運用能力を高めること。
- 上記項目について、やむを得ない事情により対応できない場合は必ず事前に申し出たうえで、国際部からの指示を受けること。
- その他、留学前準備に対し、積極的かつ誠実な対応をとること。

## [参考資料] 誓約書サンプル

※原本は関大 LMS にてダウンロードして入手してください。

### 留学に係る誓約書

関西大学国際部長 殿

私は、**交換派遣留学プログラム**（以下、留学プログラムという。）に参加するにあたり、次の事項を遵守することを誓約いたします。なお、誓約書に反する行為を行った場合、関西大学学部学生留学規程および関西大学大学院学生留学規程第 11 条に基づき、留学が取消または短縮されることを了承いたします。

内容を遵守する場合、☑をしてください。

- 1 留学プログラムの趣旨を十分理解し、事前・事後のオリエンテーション期間中も含めて学業に専念すること。
- 2 留学に係る全ての手続き（各種書類作成・提出、派遣先大学との連絡・問い合わせ、ビザの取得、航空券・宿舎の手配及び留学中の履修登録等）を滞りなく自己責任のもと行うこと。
- 3 期日までに必要書類を提出しない、または必要な手続きを行わない、オリエンテーション・レディネスセミナーに参加しない等、派遣生としてふさわしくない素行上の不良が確認された場合、警告が与えられ、警告後も改善が見られない場合は、協定大学への推薦を取り消すこと。
- 4 交換派遣留学プログラムは、関西大学からの推薦を受けて派遣されるものであることを理解し関西大学の名誉、関西大学と協定大学の良好な関係に損益を与えることのないよう、良識ある社会人として自身の発言・行動に責任を持つこと。
- 5 「学習状況報告書（中間報告・最終報告）」「帰国届」「単位認定願」は必ず所定の期間内に提出すること。提出を怠ったときは、奨学金受給者は奨学金の返還の求めに応じること。
- 6 渡航期間中は滞在国の法令、研修先大学の定める規則、指導教員・担当者等の指示に従い、かつ日本の法令や本学の学則等規程に反することのないよう、本学学生としての自覚と責任において行動すること。
- 7 日本の大麻取締法は、国外において大麻をみだりに、栽培したり、所持したり、譲り受けたり、譲り渡したりした場合などに罰する規定があるため、留学先国・地域の法令にかかわらず、日本の法令に従い大麻やその他ドラッグの使用をしないこと。使用が発覚した場合、留学が取り消され、即時帰国、懲戒の対象となること。
- 8 本学の留学プログラムを通じて留学する学生の安全対策として、外務省海外安全ホームページにて発表される「危険情報」・「感染症危険情報」の4つのカテゴリおよび本学の催行判断基準に基づき対策を講じる。渡航先の治安状況等予期しない事態によって、留学プログラムが急遽中止または即時帰国となった場合、本学の指示に速やかに従うこと。
- 9 派遣先大学によるコロナワクチン接種の義務付け、接種証明の提示、定期的な PCR 検査の義務付け、現地での行動制限等を遵守し、ワクチン接種に起因するリスクを学生本人及び保証人が理解し、その責任を学生本人及び保証人が負うこと。
- 10 新型コロナウイルス感染症への感染とそれに伴う渡航遅延、滞在先確保等必要な所作及びそれに伴う経費支弁については、自らの責任として対処すること。
- 11 留学期間途中で帰国を余儀なくされた場合、学期途中から関西大学での科目履修ができないことを承知していること。
- 12 渡航期間中は体調管理を含め自らの故意または過失により生じた損害や事故について、各自がその責任を負うこと。
- 13 留学に際しては、出発日から帰国日まで本学指定の海外旅行包括保険および危機管理支援サービス（関大 TRS）へ加入すること。なお、本学指定の海外旅行保険に加入した場合であっても、留学先大学から現地保険に加入することを求められた場合は、双方の保険に加入すること。
- 14 緊急時における安否確認対応のため、関西大学が加入する日本アイラック安心サポートデスクの「緊急時安否確認システム（プロ・ファインダー）」へ学生本人の渡航に関する個人情報を提供されることに同意すること。また有事の際には、同システムまたは本学からの安否確認連絡に速やかに対応すること。
- 15 渡航期間中に、疾病・事故等があった際、保険ではカバーできず追加費用（例えば、家族の現地への渡航費等）が発生する場合もあることについて事前に保証人の了解を得、その支払いについて学生本人及び保証人がその責任を負うこと。
- 16 自己都合でなくとも、何らかの理由で渡航前にプログラムがキャンセルとなった場合、キャンセルに係るすべての費用については自己負担となること。
- 17 渡航期間中は、車両（自動二輪車を含む）の運転を行わないこと。
- 18 渡航期間中に、留学プログラムで定める滞在先（滞在都市）以外に旅行・滞在する場合は、事前に本学に届け出ること。
- 19 外務省海外安全ホームページにて発表される「危険情報」「感染症危険情報」において、危険レベルが発出されている国への一時出国は認められないことを理解している。
- 20 定められた期間内に帰国し、帰国後すみやかに(1 か月以内を目安)に所定の「帰国届」等関係書類を本学へ提出すること。
- 21 留学先における住所・連絡先に変更がある場合は、事前に本学に届け出ること。

2.2 既往症については、海外旅行包括保険の補償を受けられないことを理解すること。



以上

20 年 月 日 学籍番号

学生署名

保証人は、上記事項を確認し、これを学生本人が遵守することを保証します。

保証人署名

【日本での緊急連絡先】 ※変更になった場合はすみやかにその旨を届けること

氏名： (本人との続柄) 連絡先 (携帯等) :

## 安全対策方針

外務省「危険情報」・「感染症危険情報」の目安と関西大学の基本方針

・外務省「危険情報」

目安	目安の詳細	大学の基本方針	
		渡航前 (2ヵ月前～)	渡航中
■危険レベル1 十分注意してください。	その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため特別な注意が必要です。 ※当該国(地域)への渡航、滞在に当たって特別な注意が必要であることを示し、危険を避けるよう勧めるもの。	原則 「実施」する →注意喚起を行う。	原則 「継続」する →注意喚起を行う。
■危険レベル2 不要不急の渡航は止めてください。	その国・地域への不要不急の渡航は止めてください。渡航する場合には特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください。 ※当該国(地域)への渡航に関し、渡航の是非を含めた検討を真剣に行い、渡航する場合には、十分な安全措置を講じることを勧めるもの。	「中止・延期」 を検討する	「帰国」 を検討する
■危険レベル3 渡航は止めてください。(渡航中止勧告)	その国・地域への渡航は、どのような目的であれ止めてください。(場合によっては、現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性や準備を促すメッセージを含むことがあります。) ※当該国(地域)への渡航は、どのような目的であれ中止を勧めるもの。また、場合によっては、現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性の検討や準備を促すメッセージを含むことがある。	「中止」 とする	「帰国」 とする
■危険レベル4 退避してください。渡航は止めてください。 (退避勧告)	その国・地域に滞在している方は滞在地から、安全な国・地域へ退避してください。この状況では、当然のことながら、どのような目的であれ新たな渡航は止めてください。 ※当該国(地域)に滞在している全ての日本人に対して、滞在地から安全な国・地域への退避(日本への帰国も含む)を勧告するもの。この状況では、当然のことながら新たな渡航は延期することが望まれる。	「中止」 とする	「即時帰国」 とする

・外務省「感染症危険情報」

目安	目安の詳細	大学の基本方針	
		渡航前 (2ヵ月前～)	渡航中
■危険レベル1 十分注意してください。	特定の感染症に対し、国際保健規則（IHR）第49条によりWHOの緊急委員会が開催され、同委員会の結果から、渡航に危険が伴うと認められる場合等。	原則 「実施」する →注意喚起を行う。	原則 「継続」する →注意喚起を行う。
■危険レベル2 不要不急の渡航は止めてください。	特定の感染症に対し、IHR第49条によりWHOの緊急委員会が開催され、同委員会の結果から、同第12条により「国際的に懸念される公衆の保健上の緊急事態（PHEIC）」としてWHO事務局長が認定する場合等。	「中止・延期」 を検討する	「帰国」 を検討する
■危険レベル3 渡航は止めてください。（渡航中止勧告）	特定の感染症に対し、IHR第49条に規定する緊急委員会において、第12条に規定する「国際的に懸念される公衆の保健上の緊急事態（PHEIC）」が発出され、同第18条による勧告等においてWHOが感染拡大防止のために貿易・渡航制限を認める場合等。	「中止」 とする	「帰国」 とする
■危険レベル4 退避してください。渡航は止めてください。 （退避勧告）	特定の感染症に対し、上記のレベル3に定めるWHOが感染拡大防止のために貿易・渡航制限を認める場合であって、現地の医療体制の脆弱性が明白である場合等。	「中止」 とする	「即時帰国」 とする